



写真提供：佐伯泰英事務所

心機一転、年頭の夢見

佐伯通信

2012年1月(平成24)
第8号
発行
佐伯泰英事務所
担当／双葉社
禁・無断転載

新年あけましておめでと
うございます。昨年は大震
災、原発事故、世界規模の
金融危機などに見舞われ、
それに迅速にきちんと対応
できました。今年こそ心
を新たに再起の年にしたい
であります。今年こそ心
く、なんとも歯がゆい一年
でありました。今年こそ心
で、佐伯先生の体たら
できました。今年こそ心
化かな。この件で喜ばしい

ものです。わが『佐伯通
信』も二年目に入り、電子
書籍の脅威に対抗するため
の自衛策として始まったの
ですが、『月刊佐伯』の新
刊告知の手立てとして定着
した感がある。その効果は
新刊発売当初の売り上げ数
増加に確かめられます。ま
ずは試みが役に立ったよう
で祝着至極、ぱちぱちぱち
と自画自賛して、二年目に
突入します。

今年の目標は『新・古着
屋総兵衛』のシリーズ定着

佐伯泰英／近刊のお知らせ

4月
15日発売予定3月
13日発売予定2月
28日発売予定2月
9日発売予定

『交代寄合伊那衆異聞
16』
〔講談社文庫〕

『吉原裏同心
16』
〔光文社文庫〕
〔新潮文庫〕

『新・古着屋総兵衛
3』
〔日光代参〕

『祝言日和』
〔醉いどれ小籠次留書
17〕
〔幻冬舎時代小説文庫〕

〔佐伯通信〕第9号が入ります。
〔初版初回出荷限定期間限定〕

近刊・作品情報はこちらでもチェックできます。
<http://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト 検索

2012年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと六回発行いたします。
〔株〕双葉社、〔株〕光文社、〔株〕角川春樹事務所、〔株〕幻冬舎、〔株〕講談社、〔株〕新潮社

「10周年のお年玉」



〔株〕双葉社 文庫編集部
「居眠り磐音 江戸双紙」担当 奥山康浩

あけましておめでとうございます。お蔵さまで「居眠り磐音」シリーズも無事10周年を迎えることが出来ました、誠にありがとうございます。その10周年を記念して、このたび「居眠り磐音 江戸双紙」特製しおり六種類(磐音・おこん・奈緒・金兵衛・笛塚孫一・由蔵)を制作いたしました。このしおり、現在開催中の10周年記念フェアの帯が付いた既刊本(一巻~三十七巻)に、期間限定で挟み込みます。是非、磐音のHPと店頭でチェックしてみて下さい。とはいっても既刊本をお持ちの読者諸氏からは、「また、買わなきゃいけないの!?」との声があがりそうですが、いやいや、そこはちゃんとフォローいたします。すでに本書にも磐音しおりが挟んである通り、三十九巻以降にも初回出荷分限定で順次同じしおりを挟み込みますのでご安心を。ちなみに三十九巻にはおこんしおりを入れる予定です。さらに、本書「東雲ノ空」と同時発売となった「吉田版『居眠り磐音』江戸地図」にも、上記のしおり六種類の色違いが付くことに! もともと地図にしおりを入れる予定は無かったのですが、出来栄えをご覧になつたお方からの鶴の一声で、急遽入れることと相なりました。そう、このしおり、佐伯先生から読者の皆様へのお年玉、「よっ、センセー、太っ腹ッ!」ってな訳で、本年も「居眠り磐音」シリーズを何卒宜しくお願ひ申し上げます。

本書と同時発売!
「吉田版
『居眠り磐音』
江戸地図」
<http://inemuriiwane.jp/>

のは旧刊『古着屋総兵衛影始末』全十一巻に大幅な見直しと加筆をしたこともあり、一、二巻が十萬部を超えたことだ。二次出版が版元を変えて地道ながら数字を伸ばしている結果は、作者にとって望外の喜びというほかない。そして、『新・古着屋総兵衛』の新しい巻が出るたびに少しずつでも新規の読者層を開拓できるならばなんて、あわよくばのことを夢見ている。また昨年は『吉原裏同心』、『鎌倉河岸捕物控』、『居眠

り磐音江戸双紙』と十周年的見直しと加筆をしたこともあり、一、二巻が十萬部を超えたことだ。二次出版が版元を変えて地道ながら数字を伸ばしている結果は、作者にとって望外の喜びというほかない。そして、『新・古着屋総兵衛』の新しい巻が出るたびに少しずつでも新規の読者層を開拓できるならばなんて、あわよくばのことを夢見ている。また昨年は『吉原裏同心』、『鎌倉河岸捕物控』、『居眠り磐音江戸双紙』と十周年記念フェア開催中! 期間限定10周年記念フェアの付いた既刊本には特製しおりが付いている! 〔佐伯通信〕第9号は、3月13日刊行予定の『吉原裏同心』16巻、『仇討』(光文社文庫)に入ります。

〔講談社文庫〕
佐伯泰英先生の『変化』『雷鳴』などをはじめ、全国書店にて展開中です。2月には「最初の1巻目フェア」を開催予定。